

平成 21 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ネクストジャパンホールディングス
代表者名 代表取締役 藤澤 信義
(コード番号 2409 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 管理部門担当 金石 晃一
TEL 06-6330-7878 (代表)

会 社 名 アドアーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中川 健男
(コード番号 4712 JASDAQ)
問合せ先 代表取締役専務 兼 管理本部長
八多川 昭一
TEL 03-5623-1100 (代表)

アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの 資本・業務提携に関するお知らせ

アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスは、平成 21 年 5 月 13 日開催の各社の取締役会において、両社間での資本・業務提携契約の締結について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本・業務提携の理由

アミューズメント業界は現在、世界的な金融危機に伴った景気低迷の影響により個人消費が伸び悩み、また、昨今の家庭用ゲーム機器のヒットなどにより、いわゆる「巣ごもり消費」と呼ばれる家庭内での消費に拍車がかかり非常に厳しい状況であります。特に、外向けの消費減退と金融危機が重なった今回の経済失速は、これまで業界を下支えしてきた中小オペレーターにとって極めて深刻な打撃を与えるだけでなく、大手企業をも巻き込んだ業界全体の構造の変化・再編に向かいつつあるなど、予断を許さない状況であります。

このような環境の中、株式会社ネクストジャパンホールディングス（以下、ネクストHD）では、ネクストHDグループの長期にわたる業績低迷からの回復を図るため、一層の運営改善によるコスト削減、また既存店舗の売場のアイテム設備の最適化による鮮度向上及び新業態開発による新規顧客の獲得の検討などを鋭意推し進めております。

ネクストHDは、2000年の1号店を大阪市に開店したのをきっかけに全国に郊外型店舗を中心に時間消費型複合レジャー施設「JJCLUB100」の運営を主たる事業として展開しております。また、近年「JJ遊's」及び「JJCOINS」等の従来の時間消費型店舗とは異なった新業態の開発も積極的に行っており、よりお客様に安心して楽しんでいただくための空間づくりをコンセプトに事業展開を図っております。

一方、アドアーズ株式会社（以下、アドアーズ）はメダルゲームのパイオニアとして、首都圏駅前立地を中心に83カ店のアミューズメント施設の運営を展開・業界第6位の売上シェアを有しております。上記のとおり厳しい業界動向ではありますが、市況悪化の影響を比較的受けにくい首都圏駅前立地やリピーターの多いメダル顧客中心の運営形態というアドアーズの特徴を活かすことで、今般のアゲインストが相対的に追い風にもなりえると判断し、業界不況をチャンスと捉えた積極的なマーケットシェア獲得戦略を推進しております。

また、業界再編後の最重要差別化要素として、「サービス（接客力+提案力）」の強化を掲げ、既存店舗の各種強化に留まらず、これまでの概念にとらわれない業態の提案としてカジノゲームラウンジ（※）などの各種新業態の開発も積極的に行っているほか、アミューズメント市況の急激な悪化を踏まえた徹底したコスト削減など、中長期視点で収益力向上に向けた改革も推進しております。

今回の提携の経緯につきましては、ネクストHDの子会社である株式会社ブレイク（以下、ブレイク）からの通常の景品仕入の提案から交渉がスタートいたしました。両社の目指す効率的な組織運営ならびに新業態の必要性等、アミューズメント施設運営事業の将来における考え方に多くの共通点を見出すことができました。また、両社には競合する店舗が少なく、双方が得意とするクレーンゲームとメダルゲームの相乗効果も大きく期待出来、両社のこれまで蓄積してきたノウハウ及び経営資源の相互活用による高い相乗効果創出を目標に、今回の提携の合意に至りました。

当該提携により、両社はアミューズメント業界での事業運営において安定した事業基盤の構築を図ってまいります。

また、本業務提携をより確実なものとし円滑に推進することに加え、今回の提携内容にとどまらず今後も両社の提携範囲を広げていくことを目的として、双方の株式を取得し強固な資本提携を構築することも決定しております。

※アドアーズが平成20年10月に開設した「アドアーズ銀座 addict 店」のB2フロアで展開中のアミューズメントカジノラウンジ業態。対人型のライブゲームを中心に運営中。

2. 業務提携の概要

両社は、以下の内容にて業務提携いたします。

①アミューズメント景品の仕入業務における提携

アドアーズの主力事業であるアミューズメント施設運営事業におけるプライズゲーム機の景品仕入れを、ネクストHDの子会社であるブレイクからの一括仕入れといたします。

ブレイクは景品関連の中間卸業を主たる事業としており、景品仕入に関して幅広い取引先を持つほか、自社開発のオリジナル商品も保有しております。このブレイクが保有する景品仕入・提供のネットワークを活かし、アドアーズの景品発注を一括して手配することで、アドアーズは一部景品においては仕入価額の削減が見込めるほか、仕入業務にかかる各種コストの削減ならびに人気商品の確実な仕入を実現できるものであります。なお、ネクストHDグループとしてもアドアーズの年額約10億円を超える景品発注を担うこと自体が大きな収益源となるなど、双方にメリットのある提携であります。

②アドアーズプライズゲーム部門に関するコンサルティング業務の受託

アドアーズが運営するアミューズメント店舗でのプライズゲーム売上向上を目的としたコンサルティング業務をネクストHDに依頼いたします。具体的には景品の選定及び店舗におけるオペレーティング指導に対して、ネクストHDグループより担当させる人員と顧問契約を締結の上業務に従事していただきます。

昨今のアミューズメント施設は、いわゆるゲーム愛好者といった若い男性層の中心の顧客層から、ファミリー層やカップル層、更にはシニア層といった一般の顧客層への広がりが急速に進んでおり、こうしたライトユーザーへのアプローチにおいてプライズゲームは非常に重要なジャンルに成長しております。

メダルゲームのパイオニアとしてメダル運営には定評のあるアドアーズであります。こうした顧客層の需要をより適確に掴むべく、業界初の時間消費型会員制複合施設を開設し多くのライトユーザーの取り込みを実現してきたネクストHD、ならびに景品卸として業界全体の動向を見据えてきたブレイクのコンサルティングをうけることで、店舗収益の拡大を見込むものであります。なお、ネクストHDグループにおきましても、アドアーズプライズゲームの収益

が拡大することは、さらに大きな受注を受けることにつながるだけでなく、アドアーズが運営する 83 店舗のマーケティングデータは更なる選定力の強化につながるなど、双方にメリットのある提携であると考えております。

③その他双方の業績向上のための情報共有（情報交換・ノウハウの享受）

本業務提携のほか、双方の情報を交換・ノウハウの享受を行うことで、アミューズメント施設運営として、多様化する顧客層・価値感に受け入れられる新サービスの開発や、事業基盤の強化を見込むものであります。

3. 資本提携の概要

両社は、以下の内容にて双方の株式を取得し、資本提携関係を構築いたします。なお、資本提携にあたり、原則として1年間は保有しあうものとしたします。その後については双方協議いたします。

(1) 株式会社ネクストジャパンホールディングス

- ①取得株式数 アドアーズの発行済普通株式数の9.9% (5,477,000株) を目標として
- ②取得方法 市場取引での買付による
(買付株価、買付時間帯、1日の買付数量に配慮した上でインサイダー取引に抵触しないように買付いたします。)
- ③取得時期 平成21年11月13日までを目処
(期間内に目標取得株式数に満たない場合は6ヶ月間の延長、延長後も目標取得株式数に満たない場合は対応について双方協議いたします。)
- ④取得資金 現時点において株式取得資金として10億円を目処に考えております。
本資金については2009年1月22日に実施いたしました株式会社大多喜ヒルズリゾートの株式売却による入金、及び2009年1月29日に実施いたしましたRevival Asset Management 1号投資事業組合からの第三者割当増資による資金の一部、並びに2008年9月11日にRevival Asset Management 1号投資事業組合と締結した極度借入契約の枠の一部を充当いたします。

(2) アドアーズ株式会社

- ①取得株式数 Revival Asset Management 1号投資事業組合が保有するネクストHDの普通株式のうち、発行済株式総数の9.9% (44,700株)
- ②取得方法 市場外取引による
(取得価格は5月13日以前30営業日の平均株価に90%を乗じた金額)
- ③取得時期 平成21年5月14日(約定ベース)
- ④取得資金 手元資金より充当

4. 各社の概要

(1) 株式会社ネクストジャパンホールディングスの概要

- ①名 称 株式会社ネクストジャパンホールディングス (東証マザーズ: 2409)
- ②主な事業内容 時間消費型会員制複合レジャー施設の直営運営およびフランチャイズ運営・各種遊技施設向け景品提供
- ③設立年月日 平成5年8月11日
- ④本店所在地 大阪府吹田市豊津町8番7号 宝ビル5階
- ⑤代表者 藤澤 信義
- ⑥資本金の額 1,131,494,579円
- ⑦従業員数 46名 (平成21年1月31日現在)

⑧大株主構成及び持株比率（平成21年1月31日現在）

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
Revival Asset Management 1号投資事業組合	307,789	68.13
株式会社トップワン	36,207	8.01
有限会社エムエムエム	8,000	1.77
株式会社インデックス・ホールディングス	7,970	1.76
今井産業株式会社	6,429	1.42
インターサービス株式会社	4,553	1.00
セガサミーホールディングス株式会社	4,100	0.90
田中 勝明	2,296	0.50
柏原 裕司	1,261	0.27
飯利 始士	1,133	0.25

⑨業績動向（連結）

	平成19年7月期	平成20年7月期
売上高	2,777百万円	2,258百万円
売上総利益	278百万円	103百万円
営業利益	△716百万円	△722百万円
経常利益	△673百万円	△701百万円
当期純利益	△2,129百万円	△3,500百万円

⑩アドアーズとの関係 資本関係：株式の保有（101,000株、発行済株式の0.18%）
人的・取引関係はございません。

(2)アドアーズ株式会社

- ①名 称 アドアーズ株式会社（JASDAQ：4712）
 ②主な事業内容 アミューズメント施設の運営・企画・開発・設計・施工・管理等
 ③設立年月日 昭和42年12月25日
 ④本店所在地 東京都中央区日本橋馬喰町二丁目1番3号
 ⑤代表者 中川 健男
 ⑥資本金の額 40億円
 ⑦従業員数 384名（平成21年3月31日現在）
 ⑧大株主構成及び持株比率（平成20年9月30日現在）

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	37.42
アドアーズ株式会社（自己株式）	9,607,315	17.53
鈴木 昭作	2,046,486	3.73
株式会社スクウェア・エニックス	1,676,000	3.05
日本証券金融株式会社	1,653,000	3.01
庄司 正英	1,000,000	1.82
星 久	975,924	1.78
株式会社ヤマニ興業	618,000	1.12
岡田 浩明	606,000	1.10
アルゼ株式会社	412,000	0.75

⑨業績動向

	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	20,483百万円	22,719百万円
売上総利益	3,958百万円	4,961百万円
営業利益	1,279百万円	1,935百万円
経常利益	1,267百万円	1,917百万円
当期純利益	348百万円	827百万円

⑩ネクストHDとの関係 人的・資本・取引関係に該当事項はございません。

5. 日程

平成21年5月13日	取締役会決議
平成21年5月13日	業務提携契約締結・株式譲渡契約締結
平成21年5月13日	提携業務開始日
平成21年5月14日	株式譲渡約定
平成21年5月19日	株式譲渡決済

6. 今後の見通し

当該提携による、今期へのネクストHDの業績に与える影響につきましては、ネクストHDでは精査中であり、確定次第発表いたします。

一方、アドアーズ株式会社における業績に与える影響につきましては、本日付にて同社より開示の「平成21年3月期決算短信（非連結）」で開示しました第2四半期見通しならびに通期見通しに織り込んでおります。

以上